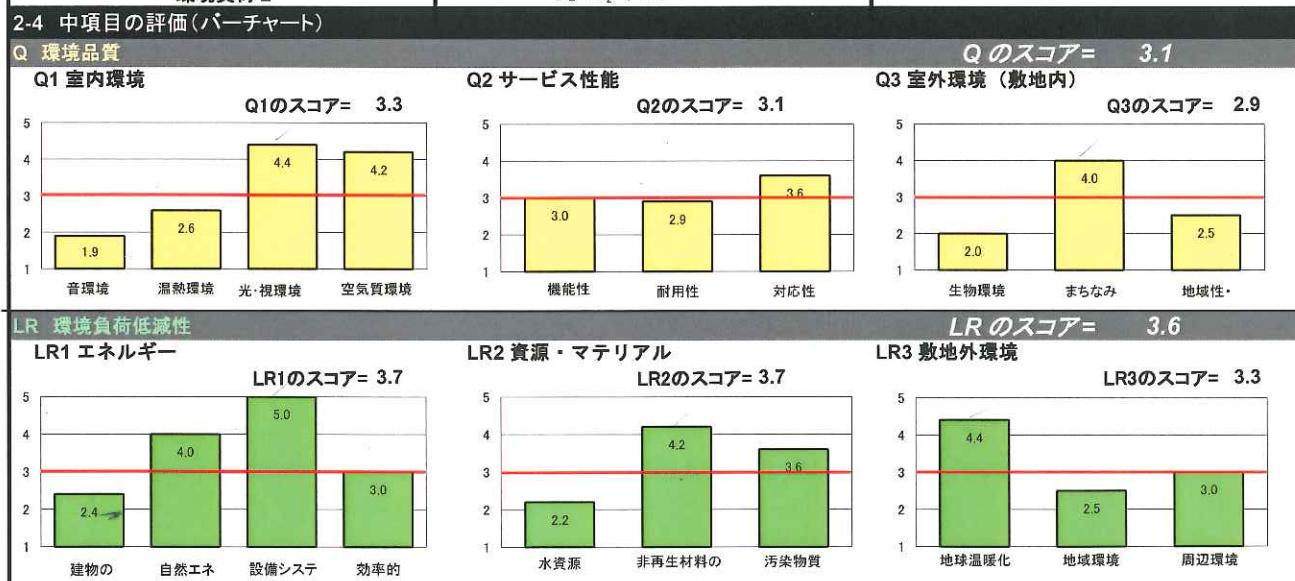
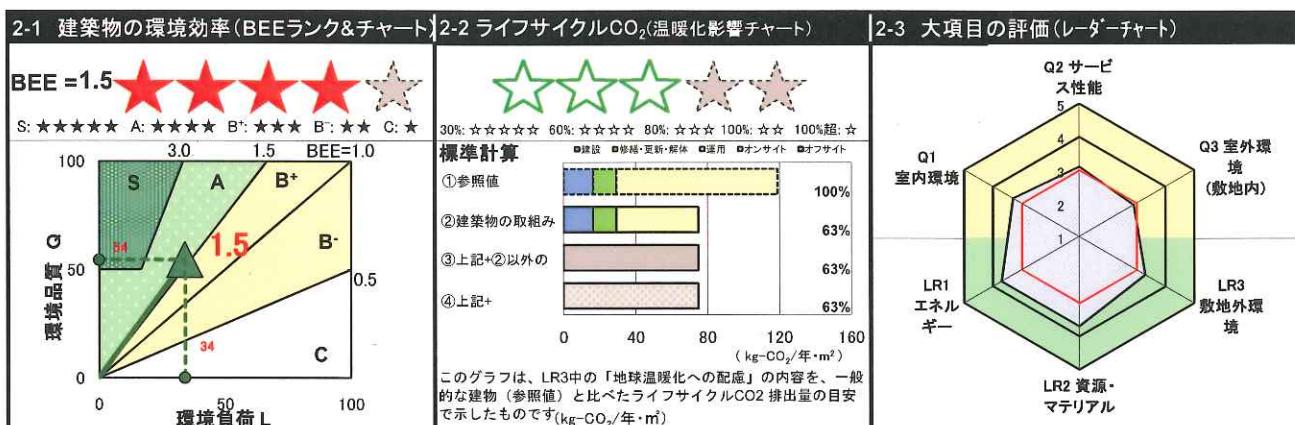


CASBEE® 新築[簡易版]

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.4)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	イオン久御山店	階数	地上4F
建設地	京都府久世郡	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	XX人
気候区分		年間使用時間	XXX時間/年
建物用途	物販店、集会所、工場等	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2012年3月	評価の実施日	2012年3月12日
敷地面積	69,357 m ²	作成者	異 亮子
建築面積	35,868 m ²	確認日	
延床面積	86,124 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項		その他
<p>総合</p> <p>注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。</p>		<p>注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。</p>
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
外壁にALCを採用し、断熱性能を高めた。また、トップライトを設けて、自然光を利用した。給気口と排気口の離隔を6m以上確保し、室内空気環境に配慮した。喫煙スペースを確保し、非喫煙者が煙に晒されないよう配慮した。	売場の天井高さを3.5m確保し、開放的な環境に配慮した。各階の便所にSKを設置し、清掃性に配慮した。ゴミ庫を十分な大きさで確保した。高所に設置する照明にはオートリフターを設置し、メンテナンスに配慮した。	
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用・改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される